

# シヨクカイ相場情報2024.07

## 国内野菜

### 全般

#### 【根菜類】

##### ○大根

北海道産・青森県産を中心に回り回しています。北海道産はおおむね播種作業、生育ともに順調に推移しています。7月上旬・中旬は安定した入荷の見通しとなっています。下旬は天候次第ですが、販売環境は厳しい見込みです。

##### ○人参

青森県産・北海道産を中心に回り回しています。7月上旬から青森県産の出荷が始まり、全国的な出荷量は回復する見込みです。これにより若干弱含みとなる可能性もありますが、極端な相場の下げは無い見込みです。

##### ○玉ねぎ

佐賀県産の中晩生の生育が悪く、数量が少ないです。また、関東近産地も早く終わるため7月は兵庫県産が中心となる見込みです。西の市場との競合となり、高値で売値が上がるため、荷動きが鈍ければ相場を下げる局面もあります。

#### 【葉菜類】

##### ○白菜

長野県産を中心に回り回しています。7月上旬に南佐久地区中心にピークに入るため相場は下がる見込みです。6～7月の作付は減らしているものの、前進化しており7月総体としての入荷数量は多い見込みです。

##### ○キャベツ

群馬県産・岩手県産を中心に回り回しています。7月上旬は出荷量が増加し、中下旬にかけてさらに増える見通しです。下旬に引き合いは弱まる見込みです。岩手県産の作付は例年並みで、数量が安定するのは7月1週目からと見込んでいます。

##### ○ほうれん草

6月中旬以降、数量は一旦減少し単価も上昇するが、7月初旬以降は単価が下落する見込みです。中旬までは梅雨の影響で相場は変わらない見通しです。下旬からは梅雨明けとともに猛暑になり、品質上一部の夏秋産地しか出荷できなくなるため、相場は上昇する見込みです。

#### 【果菜類】

##### ○胡瓜

関東産は6月下旬に切り上がりとなり、例年より早いです。7月下旬ごろから東北産露地物の入荷が本格化するまでは、端境となる見込みです。下旬ごろから相場は下げ基調となる見通しです。

##### ○茄子

7月は西南暖地から関東産地への切り替えの月となるため、6月下旬からの梅雨次第で、相場が乱高下する可能性もあります。群馬県産は作付を増加しており、作柄は平年並みです。西南暖地の終盤分出荷次第で、見通し単価も変わってくると予想しています。

## 畜肉

### 鶏肉

#### 【輸入鶏肉】

ブラジル南部の大規模洪水に関して、今のところ国内相場への影響は見られません。実需面では節約志向を背景に、数少ない安価品としての需要は底堅く、相場は少しずつ上がる見込みです。ブラジル産の生産量は高い水準を維持していますが、世界的なインフレで安価な鶏肉需要は高まっており、外貨も上昇傾向にあります。ブラジル産の副産物については、高値・品薄が続くため、早めの在庫確保が必要です。

### 豚肉

#### 【輸入フローズン】

EU産の入船遅延は緩和しつつありますが、絶対数が不足しており、ペリー全般の数量確保が困難なため、輸入価格に準じて上昇しています。肩ロースの入荷量は回復傾向にあるものの、高値過ぎるため荷動きは悪いです。ロインは全般に高騰する現在の冷凍豚肉相場と比較すると手頃感があります。用途によっては、ペリーの代替として検討するのも有効とされます。ただし、市中在庫が一掃されると一変する可能性があり、注意が必要です。ペリーの高騰で需要家の目は違う部位に向かっており、今後も高値について来れるか岐路に差し掛かっています。焼材は価格高騰による買い控えの影響で、市中在庫は減少傾向にあり、全体を通して高値維持傾向にあります。

### 牛肉

#### 【豪州フローズン】

挽き材のハイリールについては、急激に高騰したことで需要が減少しています。現在の現地価格には一服感も見られ、米国の買いが鈍れば軟化する可能性もあります。ローリールについては日本への依存度が高く、米国の買いも限定的であるため、ハイリールほどの値上がりではないです。ただしバラ材の高騰を受け、スライスや結着など代替需要も散見され、相場は底堅く天井感があります。

#### 【北米フローズン】

ショートプレートの高値を嫌気する動きが増えており、外貨動向と末端需要に乖離が見えます。バックのポジションは進んでいますが高値で日本や韓国への販売量は限定的です。バックの採算は依然として厳しく、常に生産調整の可能性がります。中バラなどの周辺部位については、ショートプレートの代替引き合いが強いですが、入荷量・市中在庫ともに少なく、全体を通して高値維持傾向にあります。

## 輸入野菜

### きぬさや

#### スナップピース

シーズン終了しました。生育期の低温と長雨の影響により、大規模な減産が確認されました。そのため、原料価格が高騰しています。各工場の生産量も予定より下回り、供給数量の減少を余儀なくされる状況です。今後の動きに注意が必要です。

### じゃがいも

生育は順調です。新物は6月中下旬から収穫・加工に入りました。価格は概ね例年並みの見通しです。

### いんげん

新物加工中です。作柄・価格は例年並みです。

### 枝豆

生育は順調です。栽培面積は例年並みで、江蘇産は6月下旬以降に収穫・加工が開始される予定です。

### なす

生育は順調です。7月上旬から収穫・加工が開始される予定です。価格は概ね例年並みとの見通しです。

## 魚介

### 鮭鱈

#### 【鮭・鱈】

鮭原料は、昨年同水準で推移していましたが、現状値上がり傾向です。製品価格相場についても、同様の状況です。鱈原料は、今期製品価格は昨年と比較して、大幅に値下がりしていましたが、安値価格の原料消化が進み高値原料に移行している為、原料、製品共に値上がりに転じています。

#### 【チリ銀鮭・トラウト】

チリ銀鮭原料は、相場変動はなく高値水準帯となっています。製品価格相場についても同様の状況です。サーモントラウト原料は、原料の品薄を要因として、現状原料、製品共に一転して値上がりしています。

### サバ

ルルウエ産、アイスランド産等の欧州サバは、今期原料が昨年度と比較して、買付価格が値上がりました。現状、高値原料が製品化され、製品価格は値上がりしています。国産、中国産サバに関しては、原料価格は、値上がり傾向で推移しています。今後製品価格にも反映され、値上がりが見込まれます。

### 赤魚

#### メバル

#### アジ

#### タラ

#### 白身カレイ

赤魚、メバル原料は、為替変動（円安）を主要因として、原料価格が値上がりで推移しています。製品価格も同様に値上がり予想です。

ニュージーランド産、チリ産のアジも、原料の値上がり、為替変動（円安）を要因として、値上がりで推移で、今後、製品価格に反映されると予測されます。

助宗タラ原料価格は、値下がり傾向が続いていましたが、現状、原料価格は下げ止まりとなっています。今後、製品価格については値上がりが見込まれます。

白身カレイ（アブラカレイ）は供給量の減少と、為替変動（円安）を要因として、原料価格が値上がりしています。製品価格についても、値上がりで推移しています。

※2024年6月末日現在の予測に基づいて作成しております。